

商売の難しさと楽しさ知る

弁天通りで11月3日、子ども起業塾の実演販売を実施しました。小学生15人が3班に分かれ、収支計画を基に仕入れた雑貨を行き交う人たちへ宣伝し販売。大人顔負けの商品説明とは対照的に、売れたときは無邪気な笑顔をのぞかせていました。



教育の日を記念し講演

まえばし教育の日記念講演会を11月1日、市民文化会館で開催しました。反復学習の指導法で有名な立命館小副校長の陰山英男さんが「学力は1年で伸びる」をテーマに講演。集まった学校関係者や保護者などは熱心に耳を傾けていました。



伊藤さんへ朔太郎賞贈呈

10月28日、前橋文学館で第15回萩原朔太郎賞贈呈式を催しました。受賞者の伊藤比呂美さんへ高木市長が賞状などを授与。伊藤さんは「この賞に負けないうよう精進します」と喜びを語り、講演しました。



産業文化祭でイベント楽しむ

11月4日、「活力ある産業づくり」をテーマに粕川地区産業文化祭を粕川小などで行いました。芸能発表や展示、地元企業のフリーマーケットなどで大にぎわい。飛び入りで参加できる餅つきも行われ、家族連れが楽しい時間を過ごしていました。



大好きな犬の「ココ」と自分を描いて



前橋児童作品展で美術館奨励賞
堀 歩未さん・9歳
昭和町三丁目

MOA美術館主催の前橋児童作品展・絵画の部で、638点の中から最高賞の美術館奨励賞に輝いた。「先生から『賞を取れたよ。良かったね』と言われて、入賞した手紙をもらったんです。びっくりしたけど、すごくうれしかったです」この展覧会は、子どもたちの創作活動を促すため毎年開催され、今年で19回目。今月10日と11日の2日間、県庁で展示された。

「絵が夏休みの自由課題で、何を描いても良かったから、大好きな犬のココを描くことにしました」ココは今年の5月から家族の一員になった愛犬。みんなの人気者で、友達もココに会いたくて学校の行き帰りに家へ寄っていくという。「お互いの視線に気を付けて、わたしとココが向き合っているところをイメージして描きました。ココに出会って毎日が楽しい。だから、絵を描いているときも楽しかったな」小さいころから、時間があると絵を描いていた。敷島小の4年生になった今、好きな教科はもちろん図工で算数も得意。また、手先が器用で母親が一度教えるといくともすぐにマスターできるといふ。ピアノと編み物が特に好きで、ピアノは週1回、教室へ通っている。

若い芽のポエム

★入選
ケンカしちやった
下川 小6年
根岸 リンさん

ケンカしちやった。
でも、私は悪くない。
あつちが悪いんだ。約束をやぶった、あつちが。
いっしょに遊ぼうって、約束したのに。
遊べないなんて。
きらいだ。あの子なんて、大きらいだ。
私はその子と一言もしやべらずに、学校にいった。
その子は、楽しそうにおしゃべりしている。
私はこんなイヤな気持ちなのに。なんだか顔がまっかになって、もくもくしたイヤな感じが心の中に、広がっていった。
さびしくなってきた。
いつもとなりにいたあの子が、となりにならないなんて。
あやまるうかな。
夜、ごめんさいをいおうとして、あの子に電話した。

★入選
あめのふるしゅんかん
元総社小1年
西沢 百音さん

がっこうのかえりにあめがふった。
あめのいっしゅんをみた。
あめがふるのはいっこいっこだった。
いっこめのあめはすぐくおおい。
ふしぎだなとおもった。
もういっかいみたいぐらいだった。
かさをさすとあめのおとがきこえた。
あめっておもしろい。

昨年度行われた第10回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

ブルルルルブルルルル
音がなるたび、ドキドキは大きくなってくる。
ガチャッ
あの子がでた。
ドキドキがあの子にも聞こえそうだった。
勇気をふりしぼって、ごめんさいをいった。
いいよといわれて、電話を切ったから、すーっと心がすずしくなった。